

第35回 奈良県河川整備委員会議事概要

1 日 時：平成18年7月25日

2 場 所：猿沢荘3F「わかくさ」(奈良市内)

3 出席者

委員 10名：朝廣佳子、池淵周一、伊藤忠通、岩本廣美、岡田伸子、中川一、
中島祐子、前迫ゆり、三野徹、和田萃（五十音順、敬称略）

事務局 4名：奈良県 板屋河川課長 ほか

4 議事要旨

- (1) 第34回奈良県河川整備委員会の議事概要の確認
- (2) 第34回奈良県河川整備委員会の補足説明
- (3) 吉野川の現状と課題（治水）
- (4) 第36回奈良県河川整備委員会（現地視察）について
- (5) その他

5 議事内容（主な意見）

5.1 第34回奈良県河川整備委員会の議事概要の確認

・特になし

5.2 第34回奈良県河川整備委員会の補足説明

・紀の川の水質は166河川中の平均値で136位であるが、例えば悪い観測地点はどこか。

→確認し報告する。

・植物相が非常に豊かであることを確認した。

・吉野川の生態系の総合評価などについてとりまとめ、データベース化を図ることが必要。

→現状を把握して、今後の事業を進める中で参考となるような形での整理を行う必要があると考えているところ。

・生物の調査結果に対するチェックが必要ではないか。

→今後、チェックを行う中で、委員の方々のご意見等をお伺いしながら精度を上げていきたい。

・奈良県の森林税の動向は。

→森林税はいま予算化されているが、具体的な活動の情報について整理が出来ていない為、担当部局に確認し報告する。

・平成10年9月22日の台風7号による風倒木が非常に甚だしかった。間伐どころか倒木が処理されず放置された状況にあったことなど、奈良県特有の森林荒廃状況を示すデータがあれば提供してほしい。

・森林の保水力に関して、「伐採した後、土壌が残っていれば浸透力はほとんど変わらない」という資料で、伐採後、畝をつくるということで土壌の流出を防止しているということだが、どんな形のものをつくるのか。

→確認する。

→河川管理者側の意識としても、間伐等により山を健全な形で管理することにより保水力の機能が維持、保全されることを望んでいる。

・森林に関する施策等を河川整備に直接生かすことは今は非常に難しい。事務局には絶えず新しい

情報を提供していただくということで進めてほしい。

- ・その他、資料の説明に当たっては、データの背景、分析、考察等を含めて誤解のないように注意することを願います。

5.3 吉野川の現状と課題（治水）

- ・時間が限られている中で治水に関しての全体的な流れや、どういうことを議論しようとするのかポイントが分かりづらいので説明を工夫して頂きたい。

→今回は、これから治水計画を立案するための前提となる情報を提供した。次回は治水計画の立て方など、資料をもう少しわかりやすく整理し説明する。

- ・今度の現地視察との関連を教えてください。

→現在、事業中の4カ所、および流下能力が不足しているような箇所を中心に見ていただく。

- ・過去の洪水の実績のハイドログラフとハイトグラフを示してほしい。

・流木による影響についてチェックするため、橋梁のある地点の断面等に関する資料を示してほしい。

- ・最近、白浜とか九十九里浜の海辺の砂が少なくなって海岸が小さくなり、また、白い砂が減ったり、重い鉄分を含んだ黒い砂が残っている状況をテレビで拝見した。それは川の整備の仕方に関連があるのではないかと思うが、どういうことからその均衡が保たれなくなってしまったのか、これに関する努力はいまなされているのか。

- ・大滝ダムは平成21年に完成予定ということだが、大滝ダムの事業の今後の進捗状況についても検討に際して留意しておく必要がある。

- ・国が伊勢湾台風規模で検討しており、その内容との整合を図ることも必要であるが今後の、県の管理区間が将来どうあるべきなのか、検討しておくことも必要。

- ・吉野川らしく生態系をどのような形で生かしながら治水、利水を考えていくかという視点も必要。

- ・情報共有の観点から住民一人ひとりに周知、把握できるようなシステムづくりを検討することが必要。

- ・これからの議論の焦点である治水について、例えば、いま県が進めている区間はどのような基準により優先し選ばれているのかなど考え方について説明が必要。

6 その他

「7月豪雨の出水に関する情報提供」

- ・水防法に基づき直轄管区間で設定されている危険水位という概念は県管理区間ではないのか。

→県管理区間もある。それを踏まえて、今回特別警戒水位を設定した。

- ・住民は特別警戒水位の設定結果について知っているのか。また、周知したのか。

→特別警戒水位は、県の水防協議会の中で議論し設定した。結果は、関係機関、報道機関、県のホームページ等で情報提供している。

以上